

社会・経済システム学会 第38回大会

大会テーマ：「意思決定と社会・経済システム」

開催日：2019年10月26日（土）・27日（日）

場所：名古屋工業大学 御器所キャンパス

【大会テーマ趣旨説明】

地球規模の人類の生産・消費活動が拡大する一方で、気象災害の頻発などの気候変動が生じている。また、情報技術革新がわれわれの生活世界にこれまでにない可能性をもたらしている。そのなかでの少子高齢化、さらには人口減少下での就労制度再整備など、社会・経済システムはいまやさまざまな課題に直面している。国際社会・国家・地域・都市といった公共圏のみならず、企業組織・コミュニティ・市民にいたるまで、その意思決定のあり方を再考する時期に差しかかっている。

古くから社会科学における意思決定研究では **organized complexity** を扱ってきたこともあり、要素還元方法論の限界を見据えてのシステムの方法論が模索されてきた。そこでは意思決定主体は与えられた状況において、どのような原理・規範・合理性で、あるいはどのような実態で意思決定を行なうのかを問い、組織や社会の情報処理やコミュニケーションプロセスに着目し、その視点から個別の意思決定を統合するシステムとして組織や社会をいかにデザインしていくかという問いかけがなされてきた。

このような状況にあって、社会・経済システムという多主体系における意思決定に注目することで、これからの社会や経済について考えて行くことが期待されている。本学会は過去数年間に、「社会・経済システムの多様性と分断」、「人口減少と社会・経済システム」、「コンフリクトと社会・経済システム」、「デザインと社会・経済システム」などを大会テーマとして取り上げ、活発な議論を積み上げてきた。それらを踏まえ、さまざまな構成主体の私的・公的意思決定と社会・経済システムとの関係への理解を深めることは、本学会の今後の活動の展開において重要な鍵となると考える。

本大会では、企業システム、行政、地域、NPO を含む社会・経済システムについて、多様な観点からの理論的、実践的な研究発表と盛んな議論が行われることを期待する。

大会実行委員長：兼田敏之

大会実行副委員長：徳丸宜穂